

## 学校改善につながる「実効性のある」学校評価

札幌市立栄町中学校 代表者 校長 一 木 一

### I はじめに

学校改善を目指した学校評価の在り方



次なる教育実践に「確かに結び付く」学校評価の在り方

#### 1 本校における学校評価のねらい

- 教育目標の達成を目指して行われる様々な取組に関して、その成果と課題及びその改善点を明らかにし、さらなる充実・発展を図ることでより確かな教育活動を目指す。
- 全教職員が教育目標の具現化に向けて共通認識に立つ。すなわち、日々のあらゆる教育実践におけるその成果と課題及びその改善点を共有する中で、学校が組織体として有機的かつ効果的な働きがなせるように組織の活性化や教職員一人一人の参画意識の高揚を図る。
- 本校が「目指す」教育活動に関する考え方や方向性、結果について、保護者や地域に向けた説明をするための機会の一つとする。保護者・地域の意見や考え方や思いをその後の学校づくりに生かし、協働体制による教育活動を展開する、開かれた学校づくりに努める。

#### 2 昨年度の学校評価の結果をもとにした改善点

(1) 本校における昨年度の学校評価を受けての学校経営の基本方針

『チーム栄町として信頼と秩序に支えられ、

21世紀を切り拓く生徒の育成をめざして』

1. 活力にあふれた学校
2. 信頼と秩序に支えられた学校
3. 豊かな人間性を育む学校
4. 創意を重んじる学校
5. 地域社会に開かれた学校



(2) (1)を達成するための重点項目

○教育課程の充実

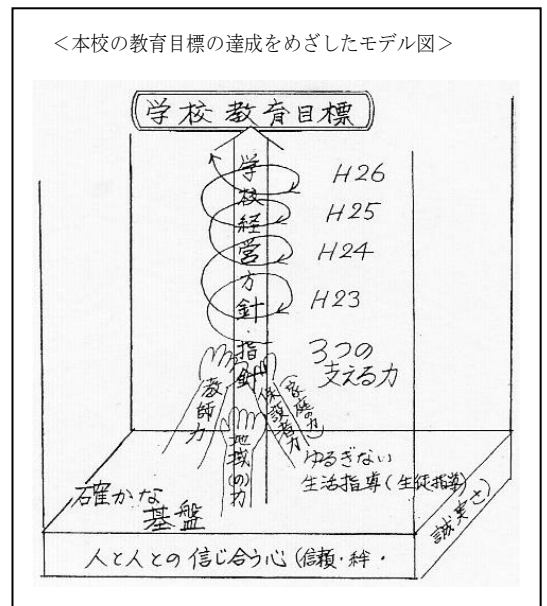
- ・学ぶ意欲を育て、基礎・基本の定着を図る
- ・個に応じた指導の充実を図る
- ・客観性・信頼性を高める評価・評定の充実を図る
- ・豊かな心と表現する力の育成を図る

○教科指導の充実、研究の推進

～学習意欲を高める指導・援助の工夫～

- ・基礎・基本の定着を重視

- ・校内研修や授業実践交流を通して研修を深め、授業力を高める。
- 共通理解に基づいた生徒指導
  - ・基本的な生活習慣の定着
  - ・生徒に見合った指導
  - ・不適応行動に対する指導
  - ・相談活動の活性化
  - ・特別支援教育の推進
- 生徒活動の活性化
  - ～生徒会活動、部活動の意義についての共通理解～
- 総合的な生き方指導の充実
- 学年・学級経営の充実
- 教育環境整備
- 家庭・地域社会との連携
  - ～信頼される学校の創造、地域に開かれた学校運営の推進～



## Ⅱ 具体的な取組

各種アンケートを生かすことで、教科指導の工夫・改善と充実に努める

### 1 教科指導の充実、実践研究の推進

(1) 昨年度の学校評価における生徒アンケート及び保護者アンケートの分析から、生徒一人一人の実情に合わせて基礎・基本を重視した授業づくりが重点課題としてあげられた。そこで本校では、1時間1時間の授業が生徒にとって、「分かる」「楽しい」「また挑戦しよう」となるように学習内容や少人数指導などの指導方法の工夫改善を図ることで授業実践の充実に努めている。

#### ※本校の授業の様子(本年度の一例です)

**1年数学**……一斉授業形態(TT指導の形態を含む)で前時の内容を想起させる。

本時における課題を提示した後、自己選択制による少人数指導(学級を2グループ分けし、習熟度別指導)を経て、再度、一斉授業形態(TT指導の形態を含む)で、まとめ学習を行った。

**1年英語**……生徒とのインタラクションを増やすために、ペアワークやグループワークの手法を活用しながら、2グループ制での少人数指導を行った。

**2年理科**……学習内容を明示した上で、学級を2グループに分け、反応の異なる2実験を実施し、生徒に「わたり」をさせることで少人数指導(課題別指導の側面もある授業)を行った。

**3年技術・家庭**……裁縫の作業実習の中で、作業に習熟しているグループとそうでないグループに分けて(各グループに大画面テレビ1台ずつを使って作業手順を放映した。その1台を使って作業手順の模範を繰り返し放映し作業手順の理解を深める)少人数指導(習熟度別授業の側面も)を行った。

確かな生活指導  
は確かな学校評  
価での検証（裏  
付け）があって  
成される

※従来は1週5日間程度の期  
間を設定して、各クラスの中  
で気になる生徒を対象に相  
談活動を行っていた。それを  
2週間に渡って期間設定を  
して、全生徒対象の相談活動  
に拡充した。

保護者アンケー  
トの結果をより  
確かな形で学校  
評価に反映させ  
る手だて

(2)教育実践の方向性が確かなものなのか、実態に合ったものなのかを検証する  
場面として、札教研事業のプレ授業を校内実践交流の機会として活用した。  
これを通して、本校が推進する授業実践が新学習指導要領に沿った確かな授  
業づくりに結び付いているのかを検証するとともに、評価規準の見直しや評  
価方法の工夫改善につながるよう取り組んだ。

(3)教科ごとに授業に関する生徒アンケートを実施し、生徒状況把握と生徒一人  
一人の思いを確かに受けとめる方法の一つとする取組を進める。

## 2 共通理解に基づいた生徒指導

(1)生徒指導研修会(9月)を中間評価の場面として活用した。

生徒指導の原則は、早期発見・早期指導・生徒理解(教育相談)が根底にあ  
る。さらに全職員が指導にあたる組織的な指導の推進には、迅速かつ正確な  
情報の共有が不可欠であり、全職員の共通理解が必要である。そこで、「ワ  
ールドカフェ」(グループの組合せを変えて、違うテーマに基づいて話合い  
をする)というファシリテーション型の生徒指導研修会を実施した(70分程  
度:休憩なし)。今の本校が目指す方向性を確かに共有し合い、職員それぞ  
れがイメージするものの「ぶれ」「ずれ」を収束させる場面として捉えるこ  
とで長期評価・展望へ向けた意識化を図った。生徒指導の安定、安心の上  
に立った学校運営・教育活動の推進とその検証が最重要である。

(2)教育相談の質の向上と拡充を図る。

・年2回の教育相談週間を期間の長い旬間<sup>※</sup>として、相談活動期間の拡充を図っ  
ている。生徒一人一人の実状の把握及び生徒理解の場面、保護者との情報交  
流及び思いの共有の場面、職員間の意見と情報の交流の場面として、個々の  
生徒に見合った指導や不適応行動に対する確かな指導につながっている。

・「ソーシャルスキルや対人関係能力」を養うことをねらいとして、SC(ス  
クールカウンセラー)とSP(相談支援パートナー)の協力を得て、週1回のペ  
ースで『成長促進グループ』活動を行っている。

## 3 学校評価における評価方法の工夫として(別紙資料参照)

(1)保護者アンケート、生徒用、教師用に関しては、すべて4段階評価とし、い  
わゆる「ふつう」という無難な評価にならないようにしている。

(2)保護者アンケートに関しては、「よくわからない」「判断しかねる」という  
項目を意識して設けている。その理由として、保護者が仕事の関係やその他  
の事情により学校行事に出席できなかった、また、何らかの理由により学校  
や学校行事などに対しての意見等を表明する気持ちはあるが十分な情報を得  
ておらず状況判断ができかねる場合に対応できるようにも配慮した。

(3) (2)の評価項目の設定により、学校の情報発信の面から問題点の発掘など、  
学校評価に関する別の視点として捉えることができるのではないかと考えて  
いる。

### Ⅲ 成果と課題

#### 学校改善を目指した学校評価の在り方

P：計画

↓

D：実践

↓

C：評価

↓

A：改善

#### 学校改善と保護者・地域との連携・協力が連動する学校評価に向けて

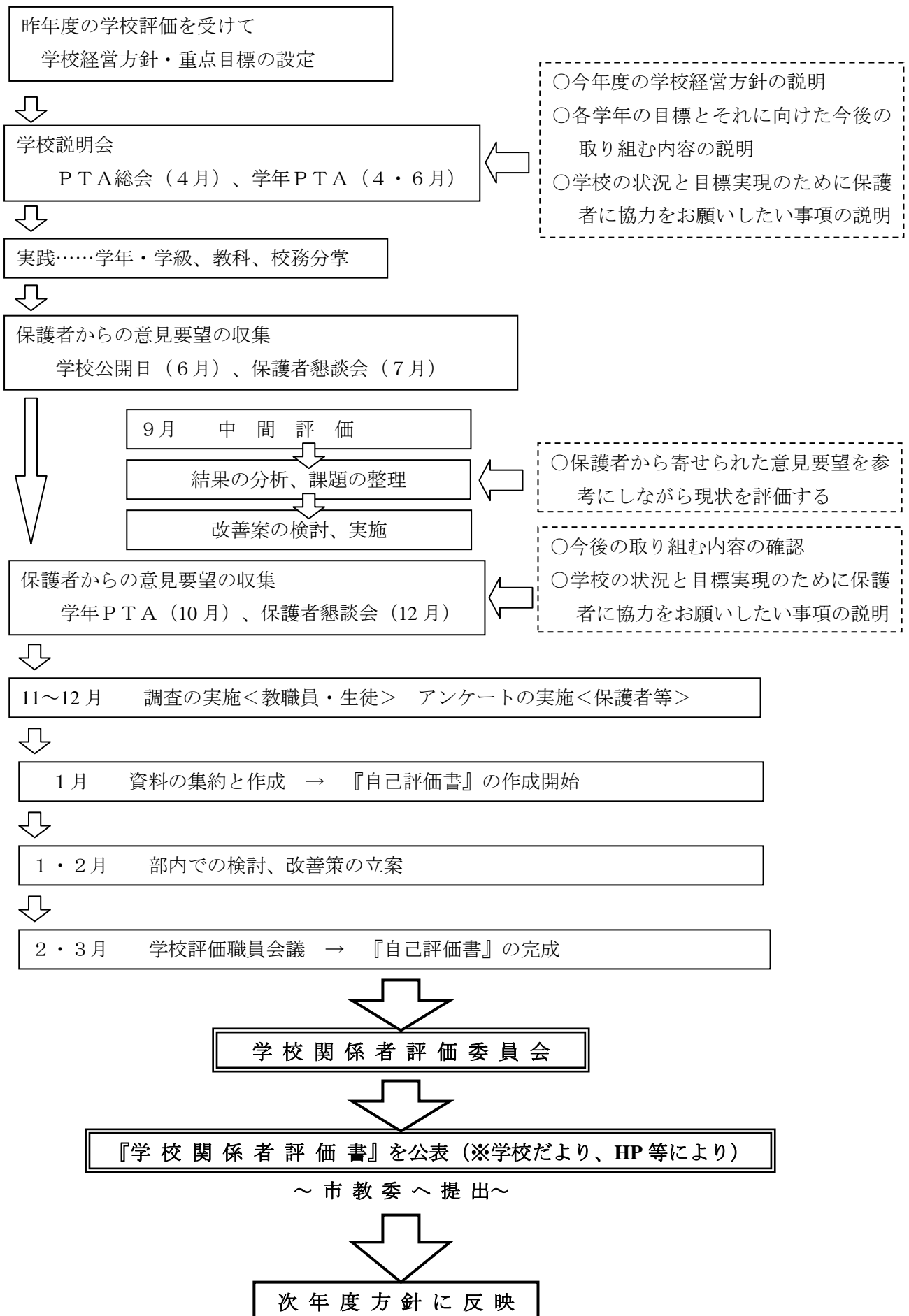
○本校における学校改善を目指した「学校評価」としての成果

- ・「年度末反省」「反省職員会議」形式での自己完結型の振り返り（反省）からの脱却を図った。
- ・次なる実行・実践に向かう評価サイクルP D C Aの推進のために、全職員による学校評価の意義と目的の共通理解を図った。
- ・分析した生徒の実態と保護者ならびに地域のニーズに応えうる年度の経営方針であり、そこから系統化・重点化された「成されるべき重点課題」の設定が最も重要といえる。課題の方向性の検証をしつつ、さらにその適正化を図った。
- ・アンケートの形式を変更することで、それぞれのアンケートの結果が今まで以上に実態に沿ったものとなることが期待できる。
- ・中間評価場面の共有化を図る場面として、生徒指導研修会を活用できたことはとても有効であった。

○本校における学校改善を目指した「学校評価」としての課題

- ・評価材としてのアンケートの分析の視点が、経営方針と確かにリンクしていることを期待されるが、系統化・焦点化の面で現状の「学校評価」は十分なものと成り得ていないといえる。
- ・本校における学校関係者評価委員会は学校評議員、P T A会長、小学校長にお願いしている。年度末に広い見地からの様々な視点からご意見をいただいて大変有意義な機会となっている。その上で、今後はさらに保護者も含めた学校関係者評価が、学校改善のために有効に機能する方策を講じる必要を強く感じている。中学校区青少年健全育成推進会などの場面をこれにうまく結び付けていくことも考えに入れて検討課題としたい。
- ・学校評価を適切に行うためにも、機会ある度に繰り返し、確かな情報発信が必要不可欠である。本校においても、学校評価に向けての保護者アンケートや各種行事ごとに行っているアンケートなどは当然のこと、学校だより・学年だより・学級通信をはじめ学校ホームページからの発信、さらにまた保護者懇談会・各学年P T Aや学校公開日を実施する場面なども活用して様々な形で情報発信を行っている。しかし現状の情報発信が、保護者（受け手）の側からすれば、未だ十分なものとなっていないことが課題といえる。
- ・これらを受けて、改めて「いかに学校に足を運んでいただくか。」「どのように学校の中に入っていただくか。」「生徒と一緒に活動していただくか。」を考える中に、現状をよりよいものとするための「たね」があるように思われる。

- ◆資料◆ 学校評価の体制づくりや年間計画について  
 ……H20年度から市教委に『自己評価書』の提出が義務になった。



平成24年度 学校評価 教師用

11/19 配布

12月3日(月)までに 提出してください 三浦座席の横の袋まで 氏名

A:よくあてはまる(十分達成されている)    B:概ねあてはまる(概ね達成されている)  
 C:あまりあてはまらない(あまり達成されていない)    D:まったくあてはまらない(達成されていない)    として○を付けてください。

No.	評 価 の 内 容	評 価
1	学校は教育目標や方針を保護者にわかりやすく伝えている。	A・B・C・D
2	3領域ならびに総合的な学習の時間の時数配分は適切に設定されており、時数も確実に確保されている。	A・B・C・D
3	各分掌間、係間の連絡調整が図られ、前年度の反省を生かしながら効率的に運営が行われている。	A・B・C・D
4	各分掌、係において、重点目標に関わる分掌等の目標の設定と活動の焦点化が図られている。	A・B・C・D
5	生徒一人一人の個性やよさを生かす指導の工夫をしていると共に、補充・発展的学習に見通しをもって取り組んでいる。	A・B・C・D
6	生徒は、授業が楽しくわかりやすいと感じている。	A・B・C・D
7	生徒の学力状況やレディネスの把握に努め、わかりやすい授業となるよう工夫している。	A・B・C・D
8	生徒の能力や努力を適切・公平に評価している。	A・B・C・D
9	将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	A・B・C・D
10	進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。	A・B・C・D
11	生徒のことについて適切に保護者の相談に応じている。	A・B・C・D
12	生徒のまちがった行動に対しては温かみのある中で厳しく指導している。	A・B・C・D
13	生徒をよく理解している。	A・B・C・D
14	学校は保護者が生徒の様子について連絡・相談したことに適切に対応している。	A・B・C・D
15	生徒の心の成長や人間としての生き方を考えさせる指導を適切に行なっている。	A・B・C・D
16	学校は生徒に生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	A・B・C・D
17	生徒は、学校祭、陸上競技大会、球技大会、旅行的行事などの行事を楽しみにし、積極的に参加している。	A・B・C・D
18	生徒の心身の健康について、気軽に保護者の相談に応じている。	A・B・C・D
19	学校は施設・設備の点検、事故防止に配慮している。	A・B・C・D
20	学校は、保護者や地域に積極的に情報発信している。	A・B・C・D
21	学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	A・B・C・D
22	学校は、保護者や地域社会と積極的に連携している。	A・B・C・D
23	学校では、生徒に関するプライバシーが守られている。	A・B・C・D

これからの栄町中学校をよりよいものにするために、こうすればよいというご意見などがありましたらお書きください。

### 学校生活についての調査（生徒用）

この調査は、栄町中学校の教育活動を充実させるために、生徒の皆さんの意見を聞いて、より良い学校にするためのものです。日常の学校生活における、授業や学校行事などの内容を考えて回答するようにしてください。

回答についてはA～Dの中からあてはまるものに○印をつけてください。

年 組 番 氏名

《評価》 A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

No.	評価の内容	評価
1	栄町中に入学して以来、楽しく学校生活を送っている。	A・B・C・D
2	目標をもって学校生活を送っている。	A・B・C・D
3	学校からのたよりやプリント類などは必ず家の人に見せている。	A・B・C・D
4	学校のことを家族に話すことが多い。	A・B・C・D
5	校舎内外や教室は清掃が行き届き、きれいであると感じている。	A・B・C・D
6	生徒の興味を引き、意欲的に取り組める授業が多いと感じてる。	A・B・C・D
7	毎日、家庭学習をしている。	A・B・C・D
8	先生たちはわかりやすく、ていねいに教えてくれていると感じている。	A・B・C・D
9	自分の学力は、以前に比べて向上していると感じている。	A・B・C・D
10	あいさつがかわされる、気持ちのよい学校であると感じている。	A・B・C・D
11	学校のきまりは、よく守られていると思う。	A・B・C・D
12	学校で嫌なことを言われたり嫌な思いをされたことは・・・ A：まったくない B：よくわからない C：たまにある D：よくある	A・B・C・D
13	どの生徒もお互いに相手の立場を尊重して生活していると感じる。	A・B・C・D
14	先生たちは、生活上の問題点にすばやく対応していると感じる。	A・B・C・D
15	困ったときに相談できる先生がいる。 A：複数いる B：1名いる C：よくわからない D：いない	A・B・C・D
16	学校祭、合唱コンクールなどの学校行事に積極的に参加した。	A・B・C・D
17	学級活動や生徒会活動が充実していると感じる。	A・B・C・D
18	委員会、部活動をがんばるなど、学校での放課後の時間を有意義に使っている。	A・B・C・D

上記の質問のほかに、特に気がついたことや希望することがありましたら書いてください。

平成24年12月4日  
札幌市立栄町中学校  
校長 一木 一

## 平成24年度 学校評価保護者アンケート

回答についてはA～Dの中からあてはまるものに○印をつけ、12月11日(火)までにお子さんを  
通して担任にお渡しください。

お名前

《評価》 A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

②わからない(判断しかねる)と思われた項目には○印をおつけください。

No.	評価の内容	評価	○
1	「高い知性・豊かな情操・積極的な行動・たくましいからだ」などの本校の教育目標がわかりやすく伝えられている。	A・B・C・D	
2	学校通信「若い芽」などで学校の様子がよく伝えられている。	A・B・C・D	
3	いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	A・B・C・D	
4	学校は家庭への連絡や意思疎通を十分に行っている。	A・B・C・D	
5	校舎内外や教室などの環境整備が行き届いている。	A・B・C・D	
6	保護者と教職員の協力関係ができています。	A・B・C・D	
7	学校は保護者・地域の願いに応えている。	A・B・C・D	
8	学校は子どもたちを温かく見守り、豊かに育てようとしている。	A・B・C・D	
9	子どもは毎日、学習意欲をもって登校している。	A・B・C・D	
10	子どもは家庭学習の習慣が身についている。	A・B・C・D	
11	子どもは授業がわかりやすいと言っている。	A・B・C・D	
12	基礎学力を身につけさせるためのきめ細やかな指導が行われている。	A・B・C・D	
13	学校の生徒指導の方針について共感できる。	A・B・C・D	
14	先生たちは生活上の問題点に対してすばやく対応している。	A・B・C・D	
15	学校は子どものことに気軽に相談に応じている。	A・B・C・D	
16	先生たちは子どもの間違った行動をきちんと指導している。	A・B・C・D	
17	子どもは学校祭や合唱コンクールなどの学校行事に積極的に参加している。	A・B・C・D	
18	学校行事が行われた時期や回数などは適切である。	A・B・C・D	
19	PTA活動は参加しやすく、多くの保護者が参加している。	A・B・C・D	
20	あなたは学校に行かれますか。…授業参観、学校公開日、PTA活動など (Aよく行く Bときどき行く Cあまり行けない Dまったく行けない)	A・B・C・D	

これからの栄町中学校をよりよいものにするために、こうすればよいというご意見がありましたら、お書きください。

お手数をおかけいたしますが、古封筒に入れてお出しください。なお、差しさわりのないようでしたら、封筒に入れずにそのままお出しただいて結構です。 **ご協力ありがとうございました。**



平成24年(2012年)12月4日

保護者の皆様

札幌市立栄町中学校  
校長 一木 一

## 栄町中学校の教育に関するアンケートの協力をお願い

初冬の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、昨年度の小学校に続き今年度から中学校でも新学習指導要領のもとでの新しい教育内容の取り組みがスタートしました。本校におきましても、確かな学力と豊かな心の育成をめざし、各教科における基礎・基本の充実と併せて、必修教科履修の拡大や総合的な学習の時間の推進などに取り組みはじめてところです。今後とも、子どもたちの学校生活がより生き生きとした楽しいものとなるよう、よりよい教育計画を作っていきたいと考えています。

つきましては、保護者の皆様のお考えをお聞かせいただき、今後の教育計画の参考とさせていきたいと思っておりますので、ご多忙の折とは存じますが、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 記

- ※ 提出について 12月11日(火)までに、お子様を通じて、学級担任へご提出ください。お手数をおかけいたしますが、回答用紙は古封筒に入れてお出してください。なお、差しさわりのないようでしたら、封筒に入れずにそのまま提出していただいても結構です。